

# 学力テストの結果について（社会科）

## 1、結果の概要

昨年度の学力テストは平成27年度第4学年の3学期に実施しました。僅かですが習熟基準に達していない項目が見られ、資料の読み取りを必要とする問題に少し課題が残りました。

## 2、結果の分析と解説

番号	出題のねらい	学年	領域	解答形式	習熟基準 (%)	正答率 (%)
<b>一 安全なくらし</b>						
1	交通事故が起きたときの通報のしくみを理解し、通信指令室の役割を考えることができる。	3	暮らしの安全	選択	70	93
2	警察官の仕事を理解し、イラストから、仕事の内容を考えることができる。	3	暮らしの安全	選択	85	91
3	防災設備について理解し、そのうち、学校にないものを考えることができる。	3	暮らしの安全	選択	90	96
<b>【平均】</b>					82	93
<b>【校内達成率】</b> ※習熟基準に達している児童の割合					84	
<b>【分析と解説】</b>						
ほとんどの問題が習熟基準を上回っています。各出題の内容だけでなく、グラフの読み取りやそれぞれの項目のつながりなど、深いところまで考えて解くことができています。						
<b>二 物を売る仕事</b>						
4	スーパーマーケットの商品ポップから、工夫していることを考えることができる。	3	品川区の特色	選択	85	90
5	コンビニエンスストアの特徴について理解している。	3	品川区の特色	選択	85	78
6	いろいろな店と、そこに行く交通手段の資料から、コンビニエンスストアの特徴について考えることができる。	3	品川区の特色	選択	60	66
<b>【平均】</b>					77	78
<b>三 物をつくる仕事</b>						
7	業種別の工場の数を調べた表を読み取り、どの業種の工場が多いかを理解することができる。	3	品川区の特色	短答式	85	75
8	食品工場での作業工程を理解し、製品のチェックが全体の作業の中のどこに入るかを考えることができる。	3	品川区の特色	選択	90	88
<b>【平均】</b>					88	82

<b>【校内達成率】</b> ※習熟基準に達している児童の割合					64	
<b>【分析と解説】</b>						
<b>四 昔と今の生活</b>						
9	現在の大所のイラストから、昔の釜と同じ役割をしている道具を考えることができる。	3	昔と今の生活	短答式	85	94
10	洗濯に使う道具の変遷の説明文を読んで、洗濯の作業がどう変わったかを考えることができる。	3	昔と今の生活	短答式	50	82
<b>【平均】</b>					68	88
<b>【校内達成率】</b> ※習熟基準に達している児童の割合					79	
<b>【分析と解説】</b>						
習熟基準を下回る項目がいくつかありましたが、ほぼ平均的にできています。身近にあるものや日常生活に溢れているものの捉え方はできています。資料でしかわからないものは、資料の読み取り方や関連性を深く考えさせることが必要だと考えます。						
<b>五 学校のまわりのようす</b>						
11	地図の見方を理解し、探検メモから、探検したコースを考えることができる。	4	品川区の特色	選択	65	82
12	地図の見方を理解し、地図中の方角を、八方位で書くことができる。	4	品川区の特色	短答式	60	40
13	地図を読み取って、土地の利用状況を理解することができる。	4	品川区の特色	選択	65	62
<b>【平均】</b>					63	61
<b>六 水とくらし</b>						
14	浄水場のしくみの図を見て、その役割を理解することができる。	4	健康な生活	選択	80	84
15	家庭で1日に使う水の量と用途の資料、および節水行為のイラストから、節水のしかたについて考えることができる。	4	健康な生活	短答式	70	55
16	家庭で使った水の行方を説明した文章を読んで、文を完成させることができる。	4	健康な生活	選択	80	67
<b>【平均】</b>					77	69
<b>【校内達成率】</b> ※習熟基準に達している児童の割合					33	
<b>【分析と解説】</b>						
全体的に習熟基準を下回る結果となりました。特に家庭で1日に使う水の量を、時刻や用途ごとに記録した資料について考察する問題の正答率が、55%と、低い数値を示しています。しかし、この問題は、区全体の正答率も49%と低くなっており、やや難問だったことが分かります。課題を受け止めつつ、資料の読み取り方や実生活との関連性などに照らし合わせて考えていくことが必要だと考えられます。						

七 ごみとしげん						
17	ごみ収集車の収集ルートを示した地図を見て、収集する際の工夫を考えることができる。	4	健康な生活	選択	75	76
18	ごみの分別や捨て方を示した表を読み取り、ペットボトルを捨てる際の捨て方を考えることができる。	4	健康な生活	短答式	65	60
19	空きびんのリユースを表した図を読み取り、リユースの内容について理解することができる。	4	健康な生活	短答式	65	0
<b>【平均】</b>					68	45
<b>【校内達成率】</b> ※習熟基準に達している児童の割合					33	
<b>【分析と解説】</b>						
リユースの内容についての問題において、正答することができていませんが、区の正答率が9と低くなっています。このことから、リサイクルとリユースの違いがはっきりしていないと考えます。ごみの分別方法について、細かく考え、理解させることが必要だと考えます。						
八 わたしたちの東京都						
20	東京を訪れた外国人の表を読み取り、国別順位や訪れた目的を理解することができる。	4	東京の自然	選択	60	58
21	三社祭の資料を読んで、祭りの内容について理解することができる。	4	東京の自然	選択	80	73
<b>【平均】</b>					70	63
<b>【校内達成率】</b> ※習熟基準に達している児童の割合					51	
<b>【分析と解説】</b>						
正答率が若干低い結果となりました。図の見方や関連性、詳しく考えることに課題が残るようです。資料から読み取れることが何か、深く考えることが必要だと考えられます。						

### 3、結果から明らかになった課題

今回、21問中習熟基準を達成した項目が10問でした。達成しなかった項目のうち、何問かが資料の読み取りでした。この結果からもわかるように、全体的に資料の読み取りに課題が残ります。今回の結果を踏まえて、資料の読み取り方はもちろんのこと、関連性を探したり、様々なグラフを比較したりしながら、思考力や資料活用の技能を向上していく必要があると考えられます。また、算数や国語など他教科でも資料を読み取る力を養う必要があると考えられます。

## 4、今後の改善・対策

### その1 【教科担任制の継続・実施】

今年度も3年生以上で行っている取り組みです。社会科では、地図を多く活用したり、資料を読み取る機会を多く設定したりするなどの活動を取り入れ、教師の専門性を生かし、より良い授業をつくっていきます。

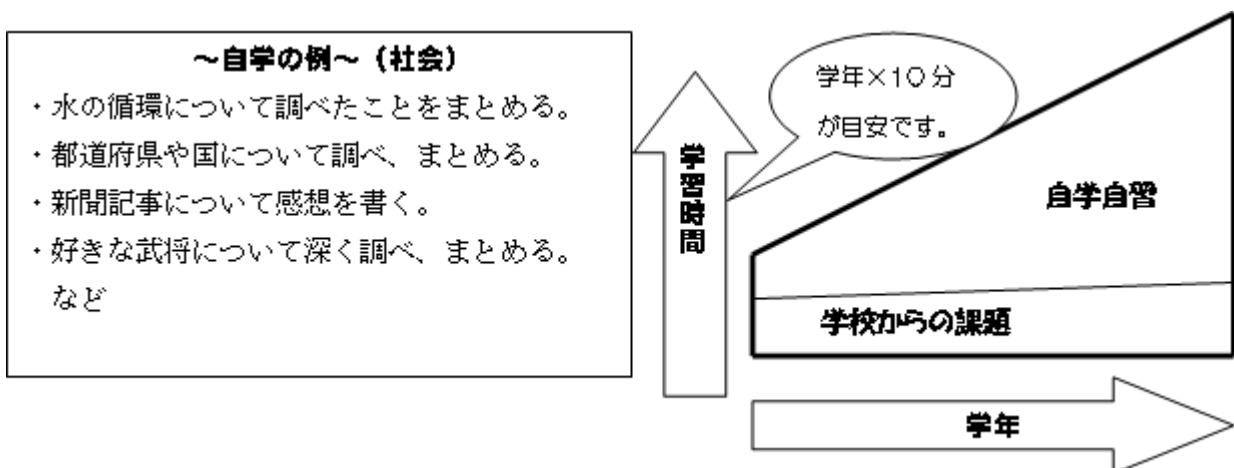
### その2【問題解決学習にそったノートの書き方指導】

児童の主体的な学習を促すために、「①疑問をもつ→②予想する→③調べる→④まとめる」の流れに沿ってノートにまとめています。「誰が見ても・後から見ても」見やすいノート作りを促していきます。

### その3【PTA との連携をとり、家庭学習の充実を図ります。】

今年度も、PTA との連携により、「まなびノート」による家庭学習の取り組みを行います。

- ・保護者と児童の家庭学習の目標を各自設定し、シートに記入します。1日ごとに達成できたか振り返り、記録します。保護者や教師がコメントを入れることもあります。
- ・家庭学習の記録（自学）を「まなびノート」にまとめ、やった量が目に見える形にし、達成感を味わわせます。
- ・学年が上がるにつれ、家庭学習では自学自習の時間を増やしていきます。
- ・学年末に一度、「まなびノート」を続けて取り組むことができた児童を全校朝会で表彰し、意欲を高めていきます。意欲を高める手段として、PTA の“まなびシート”を活用していきます。



## 5、学力検証の方法

《主な学力検証の内容》

- ① 各授業や単元の終了後に、子どもたちが目標を達成できたか確認し、次の授業に生かします。
- ② 学年末のCRTテストでは、昨年度の状況との変化を調べます。
- ③ CRTテスト（1～6年）・都学力調査（5年）・品川区の学力テスト（4年）の結果をもとに本校での学力向上のための具体的な対策を立てていきます。
- ④ 検証した結果は、保護者会において保護者に説明します。